

NCAAC

Opus2
June 2016

Magazine

アートメント NAGANO 2016
Artment NAGANO 2016 July 14(Thu) - 29(Fri)

Art'
ment
NAGANO 2016

Focus on NOW!!

▶ アートメントNAGANO2016 始動!!

Contents

Focus on NOW!!

[アートメントNAGANO2016]

- ・善光寺・奉納コンサート
ナガノ・チェンバー・オーケストラ第1回定期演奏会／ナガノ・チェンバー・オーケストラ第2回定期演奏会
秋山和慶(指揮)新日本フィルハーモニー交響楽団
久石譲&ワールド・ドリーム・オーケストラ(文:小沼純一) 1,2,3
- ・長野市の文化・芸能 レクチャー&デモンストレーション「長野市の文化…扉を開けると!!」
弧の会日本舞踊公演コノカイズム《御柱祭》(文:西形節子) 4
- ・鼓童ワン・アース・ツアー2016～混沌
鼓童メンバーによる初心者のための太鼓ワークショップ(文:伊達なつめ) 4
- ・ピアノdeベートーヴェン・シンフォニー・マラソン(文:伊熊よし子) 5
- ・東京混声合唱団「合唱の祭典」(文:戸ノ下達也) 5
- ・クラシック音楽キャラバンEX【2】／クラシック音楽キャラバンCafé 5
- ・Everly ライヴ!! 5
- ・茂木大輔☆クラシックまるわかりレクチャーコンサートVol. 1 吹奏楽編(文:佐伯茂樹) 8

Pick-up NOW!!

[サマー・キッズ・デイズ NAGANO]

- ・シルク・イナシュヴェ「ピスト&ラブ」 6
- ・親子のためのクラシックコンサート「音楽の絵本」2days 6
- ・ピアノと語りでつづる音楽紙芝居「月夜のナイチンゲール」 7
- ・親子de能楽体験 7
- ・子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」
チャコット presents「トウシューズを知ろう!」&「ティアラをつくろう!」 7

Facilities 8

- ・練習室について、語ります

Stage Information 9,10

長野市民会館50年の記憶と新しい記憶展／文化芸術の新しい風／Canon Presents ウィーン少年合唱団／cobaスペシャル・ライブ at NCAC!!／第31回長野県ピアノコンクール[予選]／THE YOUNG AMERICANS JAPAN TOUR 2016 IN NAGANO／演劇ワークショップ&ファシリテーター養成講座／NHK交響楽団／ユジャ・ワン／荒野のリア／NCAC音楽大学「音楽の分かる大人になろう!」講座／侍BRASSアンサンブル・クリニック／侍BRASS2016川中島

Ticket Information 11,12

オーケストラでめぐる世界音楽の旅Vol. 1「ロシア」／神尾真由子(ヴァイオリン)&ミロスラフ・クルティシュ(ピアノ)デュオリサイタル／NCAC音楽大学「リトミック」講座／井上道義(指揮)オーケストラ・アンサンブル金沢／TSUKEMEN Live2016@長野市芸術館／NCAC音楽大学「音楽華道」講座／小池博史ブリッジプロジェクト『風の又三郎2016—Odyssey of Wind—』／VOCES8クリスマス・コンサート／人形劇俳優たいらじょう『よだかの☆星／セロ弾きのゴーシュ』／すべてのピアノ愛好家に贈る～小川典子スペシャル・マスタークラス&ミニ・コンサート／ウィーン・リング・アンサンブルニューイヤー・コンサート／ナガノ・チェンバー・オーケストラ第3回定期演奏会

News 12

- ・長野市芸術館・アクトスペースと門前町 長野の小劇場文化のためのイヤーブック
- ・すべてのピアノ愛好家に贈る～小川典子スペシャル・マスタークラス 受講生募集!
- ・NCACチケットセンターにいらっしゃいませんか?

How to get tickets 13

- ・Nチケ会員募集中! NCACチケットオンライン／NCACチケットセンター ご利用案内

Partners 13



長野市芸術館小ホール

小ホールのカエデの壁が美しく、縦のラインが印象的だったので、それを自分なりの絵に。色は夏らしいビタミンカラーで描きました。

越ちひろ Chihiro Koshi/ 画家

1980年長野県千曲市生まれ。2006年東京造形大学卒業。2004年トキョーワンダーウォール賞受賞後、東京都庁での個展を機に数々の展覧会を開催。2015年にはニューヨークにてグループ展に参加したほか、長野駅ビルの壁画完成。表現の幅は広く、ライブペインティング、CDジャケット、地域イベントへのアートの提供など、キャンバスの枠を超えたアートの可能性を世界に展開している。

アートメントNAGANOとは、 日常からふっと芸術にふれる機会のもてる、 さまざまな音楽にあふれた 長野の音楽祭なのです。

文：小沼純一（音楽評論家）



アートメントって？

眼を惹くのは「アートメント Art'ment」ということば。

辞書を引いてもできません。なんだろう？知らないな、で通り過ぎないでください。長野の「ここ」で生まれ、「ここ」でつかわれることば。アートとエンタテインメントとを掛け合わせ、「日常に、芸術を。」を目指したのがこのことばです。毎日忙しくしているのに、芸術なんて、と言わないでください。これは夏の、7月後半におこなわれる「音楽祭」なのです。そしてすべての「祭」と同様、何かがおこなわれているからこそ、そこに足をはこぶことができる。そこからはなれてみることもできる。逆にいえば、何かがおこなわれていなかったら、足をはこぶもはこばないもできないのです。だからその「祭」です。それも、新しくできた長野市芸術館の、音楽監督・久石譲が提案するプログラムがなるぶのです。

久石譲はこんなふうに語ってくれたことがあります。東京のオーケストラの定期演奏会は、プログラムがみんなおなじだ。20世紀はじめまでの楽曲でできている。だが、音楽はつぎつぎに新しいものが生まれている。そうしたものが「クラシック」と組みあわせ、聴いてもらうことが必要だ、と。コンサートで演奏される音楽と、映画その他の音楽と並行して携わってきた久石譲だからこそこの視点がここにある

と言っていいでしょう。アートメントでは、ですから、さまざまな音楽にふれることができる——いや、ひとつのコンサートに行ったら、かならずさまざまな音楽にふれることになるのです。

オーケストラの公演があります。合唱があります。和太鼓があり、御柱祭を題材にした舞踊があります。以下ではオーケストラの公演を中心に記しますが、ほかにもベートーヴェンの交響曲を全曲ピアノで演奏するコンサートがあったり、吹奏楽の花形たるサクソフォンのカルテットのコンサートがあったり、バンドEverlyのライブがあったりと短い期間のあいだにいろいろな公演があるからこそ、そして身近でやっているからこそ、音楽が日常に近づく。日常からふっと芸術にふれる機会が持てる。そんな時期が、アートメント、なのではないでしょうか。

「アートメント」のトーン

14日(木) 善光寺・奉納コンサート

タイトルとして掲げられているとおり、長野市の聖地であり、市のなかのもっともよく知られている善光寺本堂でのコンサートが、「アートメント」のオープニングとなります。このコンサート、いわば「アートメント」の道案内にもなっているのです。

久石譲による映画のために書かれたエンタテインメント作品、ともにふれることができずし、また、現存の海外の作曲家アルヴォ・

ベルトの作品も演奏されます。先に記したように、長野市芸術館で目指されている現在の音楽と、クラシックの音楽とがあわせて提示されるのです。演奏とはいえば、奉納コンサートから2日後にはじめて全員による演奏を聴くことができるナガノ・チェンバー・オーケストラの弦楽器・打楽器のメンバー、そしてピアノを弾く久石譲。

エストニア出身の作曲家ベルトの作品は、24日「合唱の祭典」のプログラムにはいますし、久石作品は映画音楽ともに、29日「フェスティバル・フィナーレ」公演である「ワールド・ドリーム・オーケストラ」へつながっています。奉納コンサートは、そうした意味で、「アートメント」のはじまりを告げるとともに、音楽祭全体のトーンをしるしづけています。

ナガノ・チェンバー・オーケストラ、デビュー！

ナガノ・チェンバー・オーケストラによる定期演奏会が2日連続でおこなわれます。第1回定期演奏会は16日(土)で鑑賞講座つき、第2回定期演奏会は17日(日)。ここでは、2日分あわせて紹介させていただきます。

「久石譲ベートーヴェン・シンフォニー・ツィクルス」というサブタイトルもあるように、ベートーヴェンの第1番と第2番とつづきます。ベートーヴェンといえば《英雄》や5番、6番と、しっかり作曲家としてのスタイルが確立するその「前」、いえ、個性はあってもまだ模索している段階、意欲にあふれながらもまだ「これだ!」という語り口を見いださきっていない状態の作品。交響曲を順番に聴くことで、作曲家の、という以上に、人の成長・成熟を音楽をとおりて感得することができます。このシリーズは2018年7月まで、全7回の公演を予定しています。いってみれば、ナガノ・チェンバー・オーケストラの歴史・成長とベートーヴェンの交

善光寺・奉納コンサート

久石譲(ピアノ)／ナガノ・チェンバー・オーケストラ(NCO)メンバーによる室内楽

7/14 19:00 善光寺本堂(内陣) 全席自由入場無料・要整理券

久石譲：祈りのうた～Homage to Henryk Górecki～(2015)

アルヴォ・ベルト：鏡の中の鏡 (1978)

久石譲：Kids Return／Quartet／Madness ほか

協力：善光寺

[整理券申込] アートメントNAGANO事務局にて往復ハガキで受付[6/1～15受付]



響曲の発展・変化とが重ねられているとみることもできそうです。

ヴィヴァルディは《四季》でよく知られているバロック時代の作曲家ですが、ここでは、当時ののはやりのテーマをもとにした《ラ・フォリア》がとりあげられます。編曲は久石譲。《ラ・フォリア》、ヨーロッパのさまざまな作曲家がアプローチしています。ヴィヴァルディのものはあまり知られていないかもしれませんが、おなじテーマをいろいろな表情で演じ分けます。いわば生の素材がシェフによって異なった料理になるように、ほら、こんなふうになりましたよ、と供せられます。

ここでソロをとるのが、コンサートマスター近藤薫。何人もいるオーケストラ・メンバーのなかで、指揮者とほかのメンバーの「仲介役」になるコンサートマスターですが、座っている位置だけで単独の演奏にふれる機会はなかなかありません。ここでは17日にマルティノフの作品でヴァイオリニストとしての腕前を堪能していただきましょう。しかも「協奏曲」のような大仰なかたちではなく、あくまでオーケストラの側にいながら、で。

プロコフィエフ《古典交響曲》は、ハイドンが20世紀という時代に生きていたらとったであろうスタイルを仮想して書かれた作品です。オーケストラの編成は小規模、演奏時間もコンパクト。きびきびした音のはこび。それでありながら、転調や和声の斬新さが生きています。19世紀末から20世紀はじめの大規模

な交響曲が生まれていた時代に、こうした簡潔なひびきはとても清々しくひびきますし、それはいまでも同様、ではないでしょうか。そう、作曲されて今年は99年目にあたります。

久石譲《シンフォニア》は、文字どおり「小交響曲」のニュアンスを持っています。ところどころにベートーヴェン《第九交響曲》に依拠したモチーフがあらわれ、作曲家が歴史のなかにいることの意識をみてとることができます。ひとつのメロディがそれぞれの楽章で展開されるという作品ではなく、短い音型が反復され、重なり、ずれるというスタイルをとりますが、それはある意味、クラシック音楽を聴くときのようにテーマやその構成を意識して、という必要がない、ともいえます。その律動やグルーブをもっと身体的に楽しむこともできます。そのうえで、ベートーヴェン《第九》の第1楽章に親しんでこられると、なおいっそうおもしろく聴けること、間違いありません。

ウラディーミル・マルティノフはロシアの作曲家で、この《カム・イン!》は1988年、旧ソ連邦が崩壊するすこし前に書かれた作品です。ちょっと聴くと、いわゆる「20世紀の音楽」という印象は少ないかもしれません。いつの時代なのだろう?との疑問を抱かれる方もおられるでしょう。しかしこの作曲家、旧ソ連崩壊後にはロシア正教とつながりのある作品が増えてゆくのですが、ある宗教性、ある祈りの感覚が、ペルトやグレツキとともに生きています。「カム・イン」は天国からの呼びかけでもあ

り、途中でウッドブロックが扉を叩くように奏でられるのが、弦楽主体の静謐なオーケストラ・サウンドに、唐突な、でもけって違和感のないインパクトを加えます。

オーケストラを聴く、とは?

7月18日(月・祝)の秋山和慶指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏会。

プログラムをご覧になると、《ドクター・アトミック・シンフォニー》って、何だ?とおもわれる方もいらっしゃるでしょう。

もともと《ドクター・アトミック》、つまり「原爆博士」というタイトルのオペラがあり、それをもとにしてコンサート用に再構成された交響曲です。第二次世界大戦末期、アメリカ合衆国で原子爆弾を製造する研究があり、マンハッタン計画と呼ばれました。それが広島・長崎に投下され、さらには東西冷戦、多くの核実験に結びついてゆきます。オペラでは、この「原爆の父」と呼ばれた科学者、ロバート・オッペンハイマーとその周囲の人びとが研究開発を進めるさまをたどります。こうした社会性・現実性は、20世紀から現在のオペラでこそ描かれるようになりました。

オペラのストーリーを知らないと《シンフォニー》が楽しめないかといえば、そんなことはありません。ジョン・アダムズは、オーケストラを「ならず」、生き生きとしたサウンドをつくりだすことにおいては、ピカーの作曲家なのです。音楽は、ここで、しばしば不快な音をたてます。「現

(久石 譲ベートーヴェン・シンフォニー・ツィクルス) ナガノ・チェンバー・オーケストラ(NCO) 第1回定期演奏会

久石譲(指揮)／近藤薫(コンサートマスター)
NCAC音楽大学「音楽の分かる大人になろう!」講座DX
講師：柴田克彦(音楽ライター)・加藤昌則(作曲家／ピアニスト)
伊熊よし子(音楽ジャーナリスト)

7/16⑨16:00(演奏) 17:30(講座) メインホール
⑤¥5,000 ④¥4,000 ③¥3,000 学生¥2,000

ヴィヴァルディ／久石譲：ラ・フォリア
プロコフィエフ：交響曲第1番 二長調 作品25「古典交響曲」
ベートーヴェン：交響曲第1番 八長調 作品21
※講座開始時刻、曲目の一部が当初の予定より変更となりました。

(久石 譲ベートーヴェン・シンフォニー・ツィクルス) ナガノ・チェンバー・オーケストラ(NCO) 第2回定期演奏会

久石譲(指揮)
近藤薫(コンサートマスター)

7/17⑨15:00 メインホール
⑤¥5,000 ④¥4,000 ③¥3,000 学生¥2,000

久石譲：シンフォニア～室内オーケストラのための～
ウラディーミル・マルティノフ：カム・イン!(1988)
ベートーヴェン：交響曲第2番 二長調 作品36



代音楽」は不協和音に満ちているという印象を与えてきました。しかし、それともまた違った、あるわかりやすさのなかで浮かびあがってくる不快な音、説得性のある不快感、とでも言ったらいいでしょうか、そうしたものがここにはあります。そしてその迫力は、まさに、核というテーマに結びついています。さらに、です。音楽はどんどん進んでいくのです。聴いている側は退屈などする余裕なく、不快さもときに感じながら、音楽のながれに身をまかせることになります。それは、開発が否応なく進んでゆく、そのさまでもあるように……。全体は3つの楽章からなっていますが、中心は第2楽章、第1と第3の楽章はプロローグとエピローグというふうにとらえることができます。

ジョン・アダムズは1947年生まれ、つまり第二次世界大戦が終わって直後の、この列島でなら団塊の世代にあたります。このホールに足を運ぼうとされる方のなかには、同世代、あるいは近い世代の方々もいらっしゃるかとおもいます。いまを生きる、生きている作曲家が、自分とけっしてはなれていない年代の作曲家が、何を、どう考え、どんな表現をしているのか、気になることもあるでしょう。

《ドクター・アトミック・シンフォニー》を導入するかたちで配されているのが、久石譲の《シンフォニック・ヴァリエーション「メリーゴーランド」》。ご存知ない、かもしれません。こういうタイトルの作品があるのか、とおもわれるだけかもしれません。でも、きっと耳にされたこ

とがあるはず。じつは『ハウルの動く城』の、一度耳にしたら忘れられない、美しい3拍子の曲なのですから。

このコンサートで大きな位置を占めるのは、ドヴォルザークの《交響曲第9番「新世界より」》。チェコの作曲家がアメリカ合衆国に招かれ、「新世界」にふれて書かれたのがこの作品です。いわゆる「交響曲」のなかでも、ベートーヴェンの《第5番》、シューベルトの《未完成》とならび「三大交響曲」と呼ばれさえています。第2楽章は、いまではどうかかわりませんけれども、かつては歌詞がつけられ「家路」というタイトルで歌われ、また、中学校などの下校を知らせる音楽として用いられていました。

3つの作品は、それぞれ、作曲された時期も背景もまったく異なっています。《メリーゴーランド》はアニメーションにつけられ、《ドクター・アトミック》は舞台上で上演するオペラからコンサートホールでのシンフォニーへと変わってゆきました。そして、《新世界より》は、遠くはなれたアメリカ合衆国から故郷への、一種のたよりとみることができます。こうした背景の違いがあっても、ひとりの指揮者と何十人のオーケストラが演奏するところはおなじです。おなじように、聴くことができます。そして、おなじようなかたちをとっているけれど、でてくるものは違っている。ややこしいことを言うようですが、音楽のおもしろさはこうしたところにあるのではないでしょう。

クローゼットへ

7月29日(金)、フェスティバル・フィナーレ公演としておこなわれる久石譲&ワールド・ドリーム・オーケストラは、新日本フィルを迎えます。第一楽章のみ既に発表済みですが、今回は全ての楽章を揃え、久石譲、初の「交響曲」のお披露目になるほか、宮崎駿アニメーションの音楽を新たにオーケストラ用に組みなおしたプログラムが2つ。音楽家たちがこんなにたくさん集まって、ひとつの音楽を、時々刻々と作りだしてゆく、そのさまを体感してほしいとおもいます。ひびいてくる音にはさまざまな色があります。その色の背後には演奏する人たちの呼吸があります。オーケストラによって演奏される音楽、時間とともにながれ、変化してゆく音楽のなかには、じつに多彩なものが含まれています。それを聴きとるのは、皆さんひとりひとりです。そこではコンサートの音楽とエンタテインメントの音楽とが、おなじようにひびき、届くことになるはずです。

小沼純一（音楽評論家）

早稲田大学文学学術院教授。専門は音楽文化論、音楽・文芸批評。著書に『武満徹 音・ことば・イメージ』『オーケストラ再入門』『映画に耳を』『音楽に自然を聴く』他多数。編著に『武満徹エッセイ選』ほか。NHK-Eテレ『"スコラ" 坂本龍一音楽の学校』のゲスト講師としても出演。

秋山和慶(指揮)
新日本フィルハーモニー交響楽団
開演15分前より久石譲によるプレトークあり

7/18(月) 16:00 メインホール

¥6,000 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000

久石譲：シンフォニック・ヴァリエーション「メリーゴーランド」
ジョン・アダムズ：ドクター・アトミック・シンフォニー(2007)
ドヴォルザーク：交響曲第9番ホ短調 作品95「新世界より」

久石譲&ワールド・ドリーム・オーケストラ
2016

7/29(金) 19:00 メインホール

共催公演

¥8,900 A ¥8,400

久石譲：交響曲第1番「East Land」(世界初演)
久石譲：交響組曲「Princess Mononoke」(「もののけ姫」より) (世界初演)
祈りのうたⅡ(世界初演)／World Dreams ほか

主催：ワンダーシティ／(公財)新日本フィルハーモニー交響楽団／
日本テレビ／読売新聞社／イープラス／ローソンチケット／第一通信社
特別協賛：大王製紙エリエール
制作：プロマックス

「弧の会」賛歌

文:西形節子(舞踊評論家)



今から二十年近く前、天王洲アイル・アートスフィアで洋の東西を問わずあらゆる舞踊の創作の広場にしようとして「ひろば」と名付けた舞踊公演が数年間にわたり開催されました。西川喜之輔の斡旋で劇場側の厚遇を得て杉昌郎と私(西形)が制作、洋舞の藤井修治、石田種男、雑賀淑子の諸氏の協力を得てスタートした「ひろば」は、日本舞踊とバレエとのコラボレーション、モダンダンス、スパニッシュなど、いろいろなジャンルが交錯し新しい実験が試みられました。女性陣の多い中に、いろいろな流派から二十代から三十代の日本舞踊家の若き男性たちも参加、創作の群舞も生まれました。元来日本の伝統芸能は能、歌舞伎はシテ(主役)一人主義、多人数が登場しても主役の一人または二人を支えるその他大勢にすぎない個の芸術。その水脈(みお)を引く日本舞踊の古典も同様、個の芸が中心で群舞が創られるようになったのは近代以降のことです。とくに男性群舞は紋付袴の正装で素踊り(髪・衣装を着けない)で表現するところに、その魅力があるのです。

公演を重ねるうち、集められた若者たちはグループを作り、自分たちの作品が自然発生的ように生まれました。それが『御柱祭(おんばしら)』です。この作品が生まれるまでには、彼等は現地に赴き土地の人々から取材を重ね、木の切り出し、木落とし、柱を立てるまでの七年に一度の御柱祭のまつりのドラマのストーリーを作り、それを扇子一本と十人の肉体の群舞で表現する、全員

が切磋琢磨しながら討論し創りあげたのです。横長の歌舞伎の和の舞台とは違って、間口は狭く奥行きがありタッパ(高さ)のあるアートスフィア(のち銀河劇場)の舞台を生かした見事な作品です。天井から太く真っ直ぐに立つ光は御柱の神木、その回りを巡る男達、神木を選定し伐り出す夜明けから始まる『御柱祭』。木落としのクライマックスの縦に並んだ男達の躍動的なシーンは御柱祭の現場に居るような感動を覚えました。

この初演から「弧の会」が発足したのではないでしょう。

当時「弧の会」の誕生を聞いたとき、男性舞踊家の集まりなのに何で「弧の会」一人ぼっちの会なのと一瞬思いましたが…。

「弧の会」とは、円の一部である「弧(こ)」を個人に例え、「個々の光が集まり、さらに大きな輝きを放つように」と命名。十三人各々の持つ才能・能力を集結し、より高い表現力を実現。日本の文化である「日本舞踊」を多くの方へ広めようと結成いたしました。('弧の会'広報パンフレットより)

と知り、あらためて個の芸術である日本舞踊ならではの簡にして要を得た命名と感服しました。

あれから十七年、「弧の会」は年輪を重ねましたが、相変わらず瑞々しさを失わず多少の世代交代はあってもメンバーの結束は固く新しい作品を創り続け、日本全国各地で活動が続けております。

西形節子(舞踊評論家)

初代藤間勘斎(七代目松本幸四郎)から名取りを許され藤間すみれとなる。早稲田大学、同大学院で演劇を学ぶ。指導者、大学講師など日本舞踊の普及・振興に尽力。NPO法人 集団・日本舞踊21 代表。芸術祭・芸術選奨審査委員。イヤホンガイド解説者。著書多数。

長野市の文化・芸能 レクチャー&デモンストレーション 「長野市の文化…扉を開けると!!」

弧の会メンバー
(レクチャー&デモンストレーション) ほか

7/20 19:00 リサイタルホール

全席自由 ¥1,500

弧の会日本舞踊公演 コノカイズム《御柱祭》

弧の会(日本舞踊家集団)
箏曲生田流正派邦楽演奏会

7/21 19:00 メインホール

¥4,000 ¥3,000 ¥2,000

はじめ式/信楽狸/御柱祭

なんでもありの打楽器のカオスへ

文:伊達なつめ(演劇ジャーナリスト)

混 沌



©Simon Jay Price

鼓童が太鼓芸能集団としてデビューを飾ったのは、1981年、ベルリンでのことだった。以後現在まで、国内はもとより世界中を積極的かつ継続的に公演してまわり、日本＝和太鼓のイメージを定着させた立役者の存在だ。今日では、あとに続く多くの太鼓グループが出現し、太鼓人気も広がりをみせている。

そんななかで、先駆者の鼓童とはいえば、つねにさらなる高みを目指して数歩先を独走中。特に、2012年に歌舞伎界を代表する名女方・坂東玉三郎が芸術監督に就任して以降の洗練ぶりには、目を見張るものがある。昨年初演された全曲新曲の『混沌』を見れば、その自由な発想と芸術性の高さに、度肝を抜かれるに違いない。

オープニングは、開幕前の風景。メンバーが締太鼓の紐を締め直したり、楽器を運んだり、それぞれに準備を進めているところに、コロコロとタイヤが転がってくる。タイヤにはビニールテープが張られていて、それを女性パフォーマーが野球のバットのようにはたい一本撥で思い切り叩くと、硬くてほとんど反響しない無機質な音が、ドスドスと空気を震わせる。さらに、太い竹の筒を床に叩きつけるトンガトンと呼ばれるインドネシアの楽器や、哀調を帯びたストリングスの音色が魅力的な中国の楊琴などが登場。各種和太鼓が中心になりつつも、いろ

いろな音が飄々とした軽みとともに現れて、今回のテーマである「整わず、ゴチャゴチャとしている“混沌”の楽しさ」が横溢する。

なかでもクライマックスは、ドラムセットを使った3人のパフォーマーによる三者三様のソロ。鼓童は約三年前から、元ブルーハーツの熱き名ドラマー梶原徹也さんの指導を受け、同じ太鼓系とはいえ、和太鼓とは打法も音も理念もすべて異なる、ドラムの演奏に取り組んできた。和太鼓と西洋楽器のドラムの共演はめずらしくないけれど、ここでは鼓童の和太鼓奏者が、自らの個性とテクニックを活かしたドラム奏法を見出し、「鼓童がドラムを叩くところなる!」という挑戦および解釈を披露しているのだ。

自由に伸びやかな発想と、精緻な音作りによって舞台上に出現するカオス(混沌)。今回はワークショップも開催されるので、そんな彼らの高度かつ柔軟な姿勢に直接触れることもできる。太鼓の常識を覆し、本質を体感する、またとない貴重な機会となるはずだ。

伊達なつめ(演劇ジャーナリスト)

古典芸能から現代演劇、ダンス、ミュージカルなど、国内外のあらゆるパフォーマンスを追いかけて取材。現在『インレッド』(宝島社)『クレア』(文藝春秋)などに連載中。著書『歌舞伎にアクセス』(淡交社)など。

鼓童創立35周年記念第一弾公演 鼓童ワン・アース・ツアー2016 ～混沌

演出:坂東玉三郎 出演:鼓童

7/22 19:00 メインホール

¥5,000 ¥4,000 ¥3,000

[参加申込] アートメントNAGANO事務局にて電話受付

鼓童メンバーによる 初心者のための 太鼓ワークショップ

7/23 10:30 (90分間・休憩あり)

メインホール

参加料:大 人¥1,500

子ども(小学4年生~中学生)¥1,000

聴講料:¥500

(ワークショップを客席にて聴講いただけます)

[参加申込]

アートメントNAGANO事務局にて電話受付

☎029-219-3192

※聴講申込についてはNCACチケットオンライン、またはNCACチケットセンターにてお申込ください。



期間中、街中でフラッシュ・モブやります!



ピアノ1台でベートーヴェンの交響曲の神髄を表現したリスト

文:伊熊よし子(音楽ジャーナリスト/音楽評論家)



©Wataru Nishida

リストほど超絶技巧を誇り、スケール大きく華やかなピアノを奏で、聴き手を魅了したピアニストはいないのではないだろうか。残された作品にはリストの生きざまが色濃く映し出され、同時代の多くの芸術家や文学者と交流を重ねた人間味あふれる性格がひとつひとつの音となって息づいている。

リストは、11歳のときに師のチェルニーに連れられてベートーヴェンに会い、演奏を聴いてもらったという記録が残されている。リストはベートーヴェンの「孫弟子」といわれる所以である。以来、リストはベートーヴェンを敬愛し、その作品を深く研究し、1865年にはベートーヴェンの交響曲全曲のピアノ編を出版している。これはトランスクリプションを得意としたリストの超大作で、ピアノ1台でオーケストラの音色を最大限に表現するもの。各楽章の性格分け、さまざまな楽器の響きの特徴などがピアノで巧妙かつ緻密に表さ

れ、あくまでも原曲に忠実に編曲されている。

第1番、第2番は軽妙さが特徴、第3番になると10本の指で交響曲を表現する凄さに舌を巻き、次第にベートーヴェンの偉大さに魅了され、最後の第9番ではピアノから合唱が聴こえてくる思いにとらわれる。今回は5人の凄腕ピアニストがベートーヴェンの神髄を表現。聴きどころは歌心あふれる緩徐楽章。音の洪水と迫力がふと優しい響きに変わる時、えもいわれぬ至福の瞬間が訪れ、ベートーヴェンの深いロマンが胸に痛いほど迫ってくる。

伊熊よし子(音楽ジャーナリスト/音楽評論家)

レコード会社、ピアノ専門誌「ショパン」編集長を経てフリーに。音楽専門誌だけでなく、新聞、一般誌、情報誌、Webなどにも記事を執筆。著書に「ショパンに愛されたピアニスト―ダン・タイ・ソン物語」(ヤマハミュージックメディア)、「リトル・ピアニスト 牛田智大」(扶桑社)、「クラシックはおいしい アーティスト・レシピ」(芸術新聞社)など。

ピアノ deベートーヴェン・シンフォニー・マラソン

~5人のピアニストによるもうひとつのベートーヴェン交響曲全曲演奏会(リスト編曲版)~

7/23@13:00 リサイタルホール

(21:00頃終演予定/休憩あり/曲間で入退場自由)

全席自由 ¥4,000

ベートーヴェン:交響曲

第1番:岡田将 第2番:菊地裕介
第3番:岡田将 第4番:松本和将
第5番:松本和将 第6番:若林顕
第7番:菊地裕介 第8番:関本昌平
第9番:若林顕

後援:一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

東京混声合唱団「合唱の祭典」によせて

文:戸ノ下達也(音楽評論家)



今年、創立60年を迎える東京混声合唱団は、新しい合唱作品の委嘱、様々なレパートリーによる定期演奏会や全国規模の演奏活動、学校訪問演奏等、合唱の可能性と醍醐味を発信し続けている稀有なプロ合唱団である。

その東京混声合唱団が、大谷研二の指揮により「アートメントNAGANO2016」で長野市芸術館に響かせる音楽は、多彩だ。合唱の原点となる14世紀のカノンに始まり、ルネサンス期の「鳥の歌」、「エコー」、「今や五月」、「動物たちの音楽会」というポリフォニーの作品では、パートの掛け合いや、透き通るハーモニーが音の渦となり、聴く者を恍惚とさせるだろう。現代の作品は、まずベルト「マニフィカト」や、2015年に東混の演奏でCD録音され、本日が舞台初演となる当芸術館芸術監督の久石譲「かぐや姫の物語」で、久石の世界が描かれる。さらに、今年生誕100年・没後20年の柴田南雄が地元の音を素材に作曲したシアターピース「追分節考」では、関一郎の尺八と共に、

客席やステージを駆使した一期一会の音が響く。締め括りは、公演のピアノを担当する若林千春自身の編曲による東混愛唱歌集から「となりのトトロ」「島唄」「いつも何度でも」「世界の約束」「翼をください」という、今を生きる私達に寄り添う歌が優しく演奏される。

演奏会では、東混が地元の長野市市民合唱団コールアカデミーとも共演し、複数の人声によるアンサンブルの妙味を存分に聴かせてくれる。様々な声や音、息や振動が、時に器楽とも協奏し、重なり、厚みと広がりを持って聴こえるサウンドは、ホールでしか体感できない震撼する魂の声となって皆さんに訴えることだろう。

戸ノ下達也(音楽評論家)

1963年東京都生。立命館大学産業社会学部卒。著書に『「国民歌」を唱和した時代』(吉川弘文館、2010年)、『音楽を動員せよ』(青弓社、2008年)、編著書に『戦後の音楽文化』(青弓社、2016年)、『日本の合唱史』(青弓社、2011年)など。また演奏会の監修にも注力している。

東京混声合唱団「合唱の祭典」

大谷研二(指揮)/若林千春(ピアノ)関一郎(尺八)
共演:長野市市民合唱団コールアカデミー

7/24@14:00 メインホール

全席自由 ¥4,000 ¥3,000 ¥2,000

14世紀のカノン:夏は来たりぬ(1310)

ジャズカノン:鳥の歌(1528)

ラッソ:エコー(1581)

モーリー:今や五月(1595)

パンキエーリ:動物たちの音楽会(1608)

アルヴォ・ペルト:マニフィカト(1989)

久石譲:かぐや姫の物語~女声三部合唱のための~

(2015,世界初演)

柴田南雄:追分節考(1973)

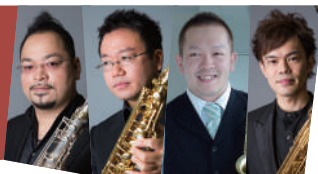
NEW東京混声合唱団愛唱歌集

「島唄」(若林千春編曲)

となりのトトロ/島唄/いつも何度でも/世界の約束/翼をください

後援:長野県合唱連盟/北信合唱連盟

長野市芸術館から外へとび出す公演たち。



“ホールの外へ公演をお届けする”という意味を持つアウトリーチ活動。クラシック音楽キャラバンが、アートメントでも活躍します。

真田邸でのキャラバンEXは、ベテラン演奏家が若手アーティストの研修も兼ねて行うキャラバン特別公演。久石譲が厚い信頼を置いているサクソフォン奏者、林田和之が主宰するサクソフォン四重奏とともにアウトリーチ・プログラムを行います。林田和之は都内のプロオーケストラなどでの演奏のほか、吹奏楽の指導で長野県との縁が深いアーティスト。中学時代に指導を受けた方も多いのでは?

そして、キャラバン登録アーティストたちが実際にアウトリーチ公演をお披露目するのが町屋商家でのキャラバンcafé。ベテラン演奏家とは一味違う、フレッシュな若手4組による「クラシックに浸る一日」です。人気バンドEverlyも参加します。この公演ではもう1つのお楽しみが。通常のクラシック公演は飲食禁止ですが、せっかくの松代でのアートメント、食事やお酒でも松代を感じていただくことにしました。ぜひご来場ください。

クラシック音楽キャラバンEX[2]

7/24@17:00 真田邸

全席自由 入場無料(申込不要・人数制限あり)

クラシック音楽キャラバンCafé

7/26@11:00/19:00 寺町商家

全席自由 入場無料(申込不要)

11:00[賛成]クラシック音楽キャラバン登録

アーティストによるアウトリーチ・ガラ公演

19:00[庭園] Everly 大人のためのアウトリーチ

チャリティ

ポップスとクラシックを自在に行き来するジャンルレス・グループと、音楽共体験!!



クラシックはクラシカルに、ポップスはバリッとバンド編成で、変幻自在に楽器を軽々と持ち替えるジャンルレス・グループがEverlyです。ヴァイオリンを弾いていたと思ったら歌い出したり、クラリネットを吹いていたと思ったらベースを弾き出したりと、その振幅はハンパなくてビックリしてしまいますよ。とにかく全身で音楽する喜びを爆発させる彼らのパフォーマンスは、“クラシックでもロックでもポップスでも、なんでもいじやん!音楽は楽しいものなのだから!!”ということを再確認させてくれます。お客さんも自然に笑顔いっぱい。それって、本当に大切なことですよ。頭で考えるのではなく、心で感じるステージ。彼らのオリジナル曲からタンゴの巨匠ピアソラのリベルタンゴまでバラエティに富んだ内容でお届けします。ゲストに中国人の二胡奏者SHINさんも登場!西洋楽器と中国の楽器のセッションにも大注目!!

Everly ライヴ!!

松尾賢之(ヴァイオリン&ボーカル)

松尾悟郎(ピアノ&ヴァイオリン&コーラス)

小向 忍(クラリネット&ベース)

仲宗根朝将(ギター)/ Funky-Yukky(ドラムス)

ゲスト: SHIN(二胡)

7/27@19:00 アクトスペース

全席指通 ¥3,000

モンティ:チャールダーシュ

ピアソラ:リベルタンゴ

Everly: 僕らの未来へ

※SBC信越放送「3時はららら」エンディング曲

Everly: Opening Sky

※読売テレビ「かんさい情報ネットten」オープニング曲

Everly: クロール

※J-COMテレビ「Hello Everyone」エンディング曲 ほか

こどもたちが会う、
海の向こうの<遠い>国からやって来た、
不思議と<近い>パフォーマンス。



フランスには200校以上といわれるたくさんのサーカス学校があります。その学校の教育カリキュラムでは、単にクラウンの演技やアクロバットの技術のみならず、ダンスや演劇、音楽、美術などの専門家による指導が行われ、まさに総合芸術としての「新しいサーカス」が生み出されているそうです。

「ヌーヴォー・シルク」と呼ばれるこうしたサーカスの潮流を代表する若きカンパニーとして、フランスの北部の町ロムにあるサーカス学校で学んだトマ・ドゥキとアントワヌ・クレにより、2007年に結成されたのが、今回、長野にお呼びする「シルク・イナシュヴェ」です。日本語で「未完成のサーカス」という意味ですが、サーカスとはいうものの、実はたった二人だけなのです。

トマは小さくてずんぐりしていて、根っこがあるみたいに地面にきぎ付け。アントワヌは、背が高く、生まれたての赤ちゃんのようなあどけなさでいつも微笑んでいます。

言葉を使わずに、身体をぶつけあったり、ひっぱったりしながら会話するふたり。大の大人たちが子どものようにじゃれ合っているのかと思っていれば、いつの間にかびたりと息が合い始め、ジャグリングあり、アクロバットあり、パントマイムありの、驚くべきパフォーマンスが始まります。

ジャグリングやパントマイムやコンテンポラリー・ダンスの要素を織り交ぜた多様な身体表現を駆使して繰り広げられる今回の作品「ピスト&ラブ」は、子どもも大人も驚きと笑いの渦に巻き込まれること間違いなし。優れた技とユーモアのセンスが入り混じります。すごいのに超おかしくて、最高のふたり!!

『ピスト&ラブ』はロム・サーカス芸術センターで、2009年3月につくられた作品で、彼らが初めてつくった作品です。

家族みんなで来て観てびっくり驚いて、そして思いっきり笑ってくださいね。 文：栗田康弘(NCAC演劇事業担当)

シルク・イナシュヴェ「ピスト&ラブ」

シルク・イナシュヴェ(パントマイム/ダンス) ※せりふはありません。

8/4 19:00 8/5 11:00 アクトスペース(約50分)

全席自由 子ども(3歳~中学生) ¥500 大人 ¥1,500 ※3歳未満入場無料

全国の子どもたちに大人気!
動物たちによる不思議なコンサートへようこそ!!



よこはま動物園ズーラシアから飛び出してきた、動物たちによる金管五重奏団「ズーラシアンブラス」が夏にやってきます。知る人ぞ知るこの動物たち、タダモノではありません! 指揮者のオカビをはじめ、トランペットのインドライオン、ドゥクラングル、ホルンのマレーバク、トロンボーンのスマトラトラとチューバのホッキョクグマなど、演奏するのはすべて絶滅危惧種の希少動物。姿かたちはユーモラスだし、立ち振る舞いもそれぞれキャラクターがハッキリしていて可笑しくて笑い転げてしましますが、演奏はとびっきりの一級品! 妥協はしません!! この「音楽の絵本」は、小さな子どもたちにとってクラシック音楽における絵本のような役割ができれば…と考えられて十数年前に誕生しました。以来、全国各地のホールに出没して、子どもたちの目と耳とハートを釘づけにしています。

長野市芸術館での公演では、メグ・ジョー・ベス・エイミーの仲良しウサギ四姉妹による弦楽四重奏団「弦(つる)うさぎ」も登場。舞台転換をテキパキと手伝う働くトリさんたちにもぜひご注目を!! 《ウィリアム・テル序曲》や《愛の挨拶》、《皇帝円舞曲》など本格的なクラシック音楽から、《となりのトトロ》や《ピクニック》などアニメや童謡まで、2日間異なる盛りだくさんのプログラムで長野市の夏休みを盛り上げます! 今年4月に公開されたディズニー映画最新作『ズートピア』のオリジナル・サウンドトラックに収録された、主題歌《トライ・エヴリシング》のズーラシアンブラス・バージョンもいち早く披露予定!! 親子のためのクラシックコンサート、皆さん、凄腕の動物たちに会いに来てくださいね。グッズ販売もありますよ。 文：長谷川綾(NCAC音楽事業担当)

親子のためのクラシックコンサート 「音楽の絵本」2days

ズーラシアンブラス(金管五重奏)/弦うさぎ(弦楽四重奏)

8/7 11:00 8/8 11:00 メインホール

(約90分・休憩あり)

全席指定 ¥2,000(4歳以上) ※4歳未満入場不可/託児サービスあり

ブルクミュラーの練習曲に
隠された美しさと楽しさを。



ピアノを習ったことがある人たちなら必ず弾いたことのある「ブルクミュラー 25の練習曲集」。

それまで習っていた曲集よりも断然楽しくて、ピアノがもっと大好きになった!という人もいれば、難しくて指がついていけなくなって「アラベスク」だけ弾いてピアノをやめちゃった...という人もいるのではないのでしょうか?

ブルクミュラーに対する思いは人それぞれ。でもこの「月夜のナイチンゲール」は、聴いた誰もがブルクミュラーを大好きになり、早く家に帰って弾いてみよう!という気持ちになってしまう、魔法のコンサートなのです。

小鳥のナイチンゲールと中国の皇帝の友情の物語は、とても美しいイラストの紙芝居として登場します。紙芝居とは言っても大きなスクリーンに映し出され、やさしさやくような語り口に合わせてお話が進みます。

そしてこの紙芝居の主演、ピアノが登場。ブルクミュラー 25の練習曲集の「やさしい花」が、ナイチンゲールの鳴き声になったり、飛び去る羽音になったり、皇帝の寂しい気持ちを表したり…。不思議なほどお話と曲がぴたり合って、幻想的な世界を繰り広げます。

紙芝居を見ているうちに、「このフレーズはこんな想像をしながら弾いたらキレイに弾けるのか」とか「私もこんな風に『やさしい花』をもう一度弾いてみたいな」とか、いろんな思いが巡ってくるに違いありません。

ピアノを習っている子どもたちも、ピアノから離れてしまった大人たちも、この不思議なコンサートを体験しませんか?

文: 牟禮美華子 (NCAC音楽普及事業担当)

ピアノと語りにつづる 音楽紙芝居

「月夜のナイチンゲール」

イラスト・語り: 音の台所(茂木淳子)
ピアノ: 川津直子

8/7(土)14:00

リサイタルホール(60分間)

全席指定

子ども(3歳~中学生) ¥500

大人 ¥1,500 ※3歳未満入場不可

ねえ、「お能」って知ってる?



6世紀中頃、格式の高い「雅楽」が中国から日本へ伝来したのと時期を同じくして、さまざまな民間芸能も日本に伝わってきました。それらは寄せ集まって、徐々に日本古来の芸能と混ざり合い、新しい大衆芸能へと発展していきます。室町時代になると、当時の人気猿楽師であった観阿弥、世阿弥親子が、時の将軍・足利義満の庇護を受けてさまざまな芸能・踊り・歌などが集大成し、ストーリー性のある新しい演劇ジャンル「能」がいよいよ完成することになったのです。

約650年、脈々と親から子へ、子から孫へ、また師匠から弟子へと一度も絶えることなく、伝え続けている「能」は、実はそのルーツからして誰もが楽しめる「元祖・大衆芸能」であった!と言えるのかもしれません。そして「能」はよく、観るよりも演じることによってわかるものであるとも言われます。

そこで、せっかくの夏休みの一日、日本古来の「お能」の面白さを、実際に能楽師の方から教わって、踊ったり、演奏してみることが、子どもたちに体感してみたいと思えました。

今回、アクトスペースに「一日だけの能舞台」を設えて、まずは子どもたちに、「仕舞」といわれる能の舞の動きと型や、「囃子方」と呼ばれる笛・小鼓・大鼓・太鼓などの能楽楽器の演奏を体験していただき、最後は親子一緒に、「船弁慶」の後半部をご覧ください。

全くの未経験でも大丈夫、十分に楽しめます。親子で、いや、おじいちゃんとおばあちゃんも、お孫さんと一緒に是非お越しください!

文: 栗田康弘 (NCAC演劇事業担当)

親子de能楽体験

能楽喜多流

8/8(日)14:00

アクトスペース(約90分)

全席自由

子ども(小中学生) ¥500

大人 ¥1,500 ※未就学児入場無料

家族そろって、ワクワクする
「夢のバレエ」をお楽しみあれ!



スペインを舞台に繰り広げられる愛と冒険の物語「ドン・キホーテの夢」。50年の長い歴史と伝統をもつ東京バレエ団による、子どもたちのためのバレエが長野市芸術館にやってきました。ダンサーたちによる、華麗で見応えのあるたくさんの見せ場と、バレエのことがよくわかる登場人物サンチョ・パンサによるお話つきの舞台。さあ!うるわしの姫をさがして愛と冒険の旅にでかけましょう!!

そしてこの公演に関連して開催される、2つのバレエワークショップにぜひご注目!! 「トゥシューズを知ろう!」では、ふだんなかなか見られない、ほぼすべて職人の手作業によるバレリーナが履く専用の靴(トゥシューズ)をつくる工程を目の前で見ることができます。職人さんがひとつひとつ丁寧に説明してくれるのでわかりやすさ満点。一日何足作っているのかな?作業の中で一番難しいのはなんだろう?など、質問にも答えてくれますよ。また「ティアラをつくろう!」では、女の子たちの憧れ、キラキラのティアラを作ってお持ち帰りいただけます。出来立ての自分だけのティアラを髪に飾り、はいチーズ!! 写真撮影してくださいね。お子様から大人の方まで、家族そろって楽しめる盛りだくさんなバレエ三昧の一日、長野でバレエ祭りをどうぞご堪能ください!

文: 長谷川綾 (NCAC音楽事業担当)

未来のバレエダンサーたちに贈る!
バレエ関連ワークショップ
チャコット presents
「トゥシューズを知ろう!」&
「ティアラをつくろう!」(各90分)

8/11(土) 11:00~15:00(休憩1時間あり)

アトリエ/演劇練習室

参加費(小学生) ¥3,000

[参加申込] 一般財団法人長野市文化芸術振興財団にて電話受付 ☎026-219-3100

子どものためのバレエ

「ドン・キホーテの夢」

東京バレエ団

8/11(土) 16:00 メインホール

子ども(4歳~中学生) B ¥3,000 A ¥2,500

大人 B ¥5,500 A ¥4,500

※当日券は¥500増

「茂木大輔☆クラシックまるわかり レクチャーコンサート vol.1 吹奏楽編」公演 聴きどころ、期待感

佐伯茂樹（音楽評論／古楽器奏者）

今年の9月、長野市芸術館で、茂木大輔とシエナ・ウインド・オーケストラという異色の組み合わせによるコンサートが催される。実は、両者の共演はこれが初めて。しかも、公演はこの長野公演一度きりで、他の地域では聴くことのできない貴重な機会なのだ。

茂木大輔といえば、オーボエ奏者としてはもちろん、指揮者、エッセイストなど幅広い顔を持ち、山下洋輔と共演するなどジャズにも造詣が深いマルチタレントである。名曲にメスを入れて深く研究し、その成果を初心者にもわかりやすく解説するレクチャー・コンサートは定評があり、今回はそのターゲットが吹奏楽に向けられるというから期待が膨らむ。

プログラムを見ると、モーツァルト、リヒャルト・シュトラウスなどの名前が並んでいて、吹奏楽部のコンサートで聴かれるような曲は見当たらない。「モーツァルトの吹奏楽?」と疑問に思う方もいらっしゃるかもしれないが、実は、吹奏楽のルーツを探っていくと、モーツァルトの時代に流

行した「ハルモニ」いう管楽合奏に辿り着くのだ。オペラや交響曲を編曲したものを野外で演奏したというから、今の吹奏楽とコンセプトはあまり変わらない。その「ハルモニ」のためにモーツァルトが書いた「グラン・パルティータ」と、100年後にリヒャルト・シュトラウスが書いた「13管楽器のためのセレナード」が今回の目玉の1つ。さらに、金管合奏のルーツと言えるガブリエリの「ピアノとフォルテのソナタ」、ヴォーン＝ウィリアムスの「イギリス民謡組曲」などもプログラムに並び、吹奏楽の歴史を音と編成で体験できるという実に興味深い企画だ。ステージ後方のスクリーンに解説のポイントが投影される形式なので、演奏中でも聴きどころのポイントを理解することができるのも嬉しい。

コンサートの後半は、シエナが得意とするジャズの名曲が用意されており、ジャズの真髄を知る茂木とのバトルで熱いステージになること請け合いだ。吹奏楽をやっている人もそうでない人も、この機会をお聴き逃しのないように!

茂木大輔☆
クラシックまるわかり
レクチャーコンサート Vol.1
吹奏楽編
シエナ・ウインド・オーケストラ

9/4 @15:00 メインホール

国¥4,000 県¥3,000 市¥2,000

ガブリエリ：ピアノとフォルテのソナタ
モーツァルト：「グラン・パルティータ」より第1、3、6、7楽章
ヴォーン＝ウィリアムス：イギリス民謡組曲
R.シュトラウス：管楽器のためのセレナード 作品7
ホルスト：組曲「惑星」より 木星
グレン・ミラー・メドレー
ストレイホーン：A列車で行こう
プリマ：シング・シング・シング

佐伯茂樹（音楽評論、古楽器奏者）

早稲田大学卒業後、東京藝術大学でトロンボーンを学ぶ。「N響アワー」「ららクラシック」にゲスト出演。「音楽の友」「バンドジャーナル」で連載中。「レコード芸術」月評担当。「名曲の暗号」（音楽之友社）など著書多数。元東京藝術大学非常勤講師。

Facilities

練習室について、語ります。

地下1階にある 各練習室のご紹介。

17m×12mの広さを持つ「リハーサル室」。旧市民会館で使われていたグランドピアノやバレエシートなどの附属設備があり、様々なリハーサルに対応可能です。

リハーサルを外から見られるのが恥ずかしい場合だけでなく、音響的に部屋の中が響きすぎる場合には、四方のカーテンを閉めることで吸音することが可能です。

その他、「音楽練習室」2部屋と「バンド練習室」3部屋が防音室です。「周りを気にせず大声で歌いたい」「しずかちゃん並みの腕前だけどヴァイオリンを練習したい」という方にも、安心してご利用いただけます。

「演劇練習室」も2部屋あります。1方の壁面が鏡張りとなっていますので、団体でポーズ確認するもよし。一人で自分に酔いしれるもよし…。

多種多様な練習(?)に対応可能な長野市芸術館を是非ご利用ください!!

文：大山鋭裕（NCAC施設担当）



バンド練習室



グランドピアノのある音楽練習室



鏡張りとなっている演劇練習室

長野市民会館 50年の記憶と 新しい記憶展



4/29(金)～7/3日
10:00～19:00
(火曜休／5/27～29休)

長野市芸術館「展示サロン」では、旧市民会館の写真や図面など20点ものパネルのほか、外壁に使われた赤レンガなどが展示されています。当時使用されていたペンダントライトも入口を優しく照らします。これまでとこれからと、記憶を共有しましょう。

～文化芸術の 新しい風～ 長野市芸術館 開館記念共催事業



6/1(水)～7/3日
**メインホール・
リサイタルホール・
アクトスペースほか**

初夏の緑がまばゆく映える6月から7月、33日間に渡り37団体39企画が長野市芸術館の3つのホールをさすがに吹き抜けていきます。クラシック・ポップス・ジャズ・合唱・演劇・ダンス・落語・美術・トークセッション・こどもワークショップなど、多種多様なプログラムが市民の皆さんの手によって企画されています。

第31回 長野県ピアノ コンクール 予選

8/3(水)～6(土) 開演時刻未定
リサイタルホール
入場無料

今や国際派ピアニストとして成長を遂げた山本貴志をも輩出した長野県ピアノコンクールが今年も行われます。才能あふれる小さなピアニストたちが集結し、自分たちの未来をかけた白熱の演奏を繰り広げます。

主催：信濃毎日新聞社

Canon Presents ウィーン少年合唱団



6/9(土)19:00 メインホール

¥6,000 ¥5,000 ¥4,000 ¥3,000

オルフ：カンタータ「カルミナ・ブラーナ」より
モーツァルト：歌劇「魔笛」より
ロジャー・ハマー・ステインII：映画「サウンド・オブ・ミュージック」より
エルトン・ジョン／ティム・ライス：映画「ライオン・キング」より
久石譲：映画「天空の城ラピュタ」より
菅野よう子：花は咲く
岡野貞一：ふるさと
ウェルナー：野ばら ほか

音楽の都ウィーンから、世界で一番有名と言っても過言ではない、あのボーイソプラノたちがやってきます。今回注目したいのは映画音楽の数々。彼らのポップスを未体験の方々には特にオススメです。伝統ある歌唱力に裏打ちされた楽しくも聴きごたえのある彼らの映画音楽をぜひご堪能ください！

coba スペシャル・ライブ at NCAC!!

coba(アコーディオン)
伊丹雅博(ギター)
田中晋吾(ベース)
山内陽一朗(ドラムス)
スペシャルゲスト：押尾コータロー(ギター)



6/25(土)18:00
メインホール
¥5,000 ¥4,000

長野市が生んだ鬼オアコーディオニスト、cobaの凱旋ライブとなるステージに、なんと！超人ギターテクニクをもち絶大な人気を誇る世界のアコースティック・ギタリスト、押尾コータローもスペシャルゲストで出演します！2人とバンドの丁々発止のプレイに乞うご期待！

THE YOUNG AMERICANS JAPAN TOUR 2016 in NAGANO



8/14(日)16:30
メインホール
入場料¥1,000

1962年、若者の素晴らしさを音楽で伝えようと、ミルトン・C・アンダーソンによって設立された非営利活動団体「ヤングアメリカンズ」、アメリカでオーディションを勝ち抜いた18歳～25歳の若者たちと共に、歌って踊って新たな「ジブン」に出会う3日間のワークショップ＆ショー。

主催：ヤングアメリカンズ・ジャパンツアー2016 in 長野 実行委員会

演劇ワークショップ &ファシリテーター 養成講座(全8回)

講師：わたなべなおこ(演出家)



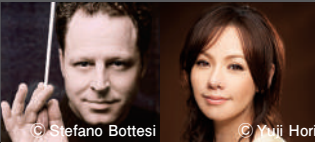
**8/21(日)、9/18(日)、
10/16(日)、11/13(日)、
12/25(日)、1/22(日)、
2/19(日)、3/26(日)**

時間未定
募集開始：6月下旬頃

演劇の手法を用いて、日常や学校での出来事を見直し、さまざまな気づきや学びを得ることを目的とした「コミュニケーション・ワークショップ」。その活動の担い手となるファシリテーター(進行役)人材を育成します。

NHK交響楽団

長野公演

指揮: ジョン・アクセルロッド
ソプラノ: 森麻季

8/24(水) 19:00

メインホール

S¥6,000 A¥5,000
B¥4,000

グノー: 歌劇「ファウスト」より ワルツ
歌劇「ロメオとジュリエット」より ジュリエットのワルツ「私は夢に生きたい」
マスカーニ: 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲
ベッリーニ: 歌劇「カプレーティ家とモンテッキ家」より「おお、いくたびか」
プッチーニ: 菊の花
歌劇「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」
歌劇「ボエーム」より「私が町を歩くと」(ムゼッタのワルツ)
チャイコフスキー: 交響曲第4番へ短調 作品36

NHK交響楽団が、人気の指揮者、ソリストをそろえた豪華なメンバーで贈る長野公演。指揮者のジョン・アクセルロッドはクラシック界をけん引する若手指揮者の中でも世界中のオーケストラや歌劇場からオファーが殺到という、今、旬な存在。ソプラノの森麻季はコンサートやオペラはもとより、テレビ出演などでもその透明感のある声を披露、親しみやすい人柄も併せ人気を博しています。

主催: NHK長野放送局、NHK交響楽団

ユジャ・ワン
ピアノリサイタル

9/11(日) 17:00

メインホール

S¥7,000 A¥5,000
B¥3,000

ショパン: ピアノ・ソナタ第2番
変ロ短調 作品35「葬送」
ピアノ・ソナタ第2番 変ロ短調 作品58
スクリャービン: 左手のための前奏曲 嬰ハ短調 作品9-1
前奏曲 嬰ハ短調 作品11-8
幻想曲 変ロ短調 作品28
前奏曲 変ロ短調 作品37-1
2つの詩曲 作品63
ピアノ・ソナタ第9番 作品68「黒ミサ」
バラキレフ: 「イスラメイ」(東洋風幻想曲)

一度弾いただけで聴衆をとりこにしてしまふ、カリスマとも言ふべき魅力。ユジャ・ワンはそんなオーラを持ったピアニストです。豊かな表現力と巧みな超絶技巧を併せ持ち、人間性や知性にあふれた演奏で、これまでロマン派から印象派の作品を主なレパートリーとしてきましたが、最近、近・現代の作品も手掛け、高い評価を得ています。

主催: 信濃毎日新聞社、オフィス・マユ、(公財)信毎文化事業財団

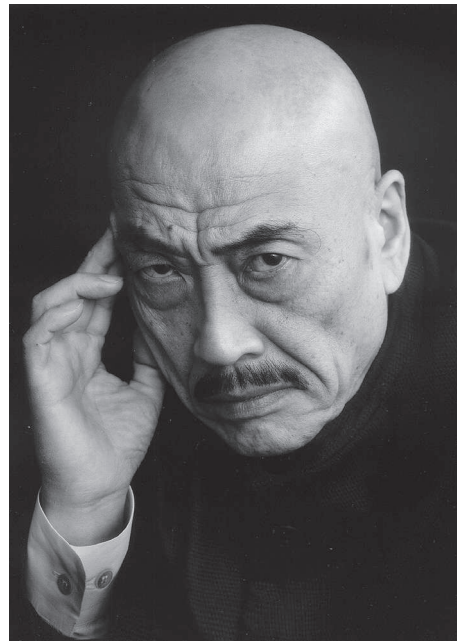
ティーファクトリー『荒野のリア』

原作: W.シェイクスピア「リア王」(松岡和子訳)

構成・演出: 川村毅

照明: 原田保

キャスト: 磨赤兒、手塚とおる、米原幸佑、志村史人、笠木誠、中村崇、萩原亮介、森下庸之、太平



9/22(水) 開演時刻未定 アクトスペース

料金未定

【一般発売: 7/2(土) 10:00】

老女リアと三人の娘の物語という印象が強いシェイクスピアの名作『リア王』、今回の舞台はいきなり第三幕、嵐の荒野をさまよう狂気のリアから始まります。主演のリアは磨赤兒。大駱駝艦を率いる舞踏の巨匠ですが、圧倒的な存在感、空間を捉える台詞術、そして舞踏家として鍛え抜かれた身体からにじみ出る悲しみと狂気は圧巻です。

NCAC音楽大学
「音楽の分かる
大人になろう!」講座
(全7回)

*NCACとは、Nagano City Arts Centerの略称です。

講師: 柴田克彦(音楽ライター/音楽評論家)



9/22(水)・10/30(日)
11/27(日)・12/23(金)
1/29(日)・2/26(日)
3/26(日) 各回共14:00

リサイタルホール

全席指定 1回券¥500 7回券¥3,200

「詳しくないからクラシックのコンサートには行けない」「知識を得てもっと深い鑑賞をしたい」……初心者も上級者も楽しめる「音楽鑑賞のヒント」がたっぷりの講座です。講師の柴田克彦は音楽ライターとして国内外のオーケストラやアーティストの公演を聴き比べてきた豊富な知識を活かし、翌月に行われる公演の演奏曲目について聴き方のコツや、知っておくとより楽しめる豆知識などを紹介します。

侍BRASS楽団長
中川英二郎による
アンサンブル・
クリニック

講師: 中川英二郎(侍BRASS楽団長)



9/24(日) 14:00
メインホール

全席自由 ¥500

第1部: 《宝島》(和泉宏隆 作曲)を用いたジャズ・ポップス講座
・ジャズ・ポップスとは?
・リズムの出し方
・実践・アドリブ入門
・みんなで参加しちゃおう!!
(管楽器をご持参ください)
第2部: アンサンブル・クリニック
【参加アンサンブル】
ちょんまげプラス
アミックス・プラス・カンパニー

侍BRASSメンバー初のプラス・クリニックが長野に登場です! ハイセンスなアレンジで学生たちにも演奏できるよう工夫された作品を次々と発表している侍BRASS楽団長が、長野の管楽器愛好者たちに直接指導をするまたとないチャンス!!

侍BRASS 2016 川中島



9/25(日) 15:00 メインホール
S¥3,000 A¥2,000 B¥1,000

高橋宏樹: 文明開化の鐘
中川英二郎: 侍 <SAMURAI>
エリック・ミヤシロ編: アフリカシンフォニー
高橋宏樹: 川中島(世界初演) ほか

国内オケ首席奏者とスタジオ界のトッププレイヤーから成るユーフォニウム搭載の最強のドリームプラス。2016年は衝撃のデビューから10周年を迎えます。結成以来、ジャズトロンボーン奏者・中川英二郎と、超人的ハイトーンで聴く者を驚愕させるエリック・ミヤシロを中心に、バフフルかつ洗練された演奏で聴衆を魅了してきました。徹底して和のテイストにこだわるのも彼らならではの、プラス愛好家たちよ、集まれ!

■ NCACチケットオンライン会員先行発売: 6/2⑤10:00 ■ 一般発売: 6/4⑤10:00

オーケストラでめぐる世界音楽の旅 Vol.1「ロシア」

梅田俊明(指揮)／横山幸雄(ピアノ)／東京交響楽団

10/1⑤16:00

メインホール

¥6,000 A¥5,000
B¥4,000 C¥3,000



ショスタコーヴィチ: 祝典序曲 イ長調 作品96
ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18
チャイコフスキー: 交響曲第6番 短調 作品74「悲愴」

長野市芸術館がシリーズで行う「オーケストラでめぐる世界音楽の旅」, 第一弾はこれぞロシア音楽! という作品ばかりを集めました。マエストロ梅田の洗練されたタクトと創立70周年を迎える東京交響楽団の名コンビ、さらに横山幸雄の力強く、かつドラマティックなピアノで、広大なロシアの響きをお楽しみいただきます。

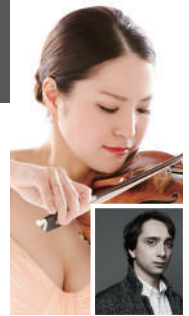
神尾真由子(ヴァイオリン)& ミロスラフ・クルティシエフ(ピアノ) デュオリサイタル

10/22⑤14:00 メインホール

¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000

ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ第1番「雨の歌」/ 第3番
チャイコフスキー: レンスキーのアリア「青春は遠く過ぎ去り」
プロコフィエフ: 行進曲 作品33bis-3
ショスタコーヴィチ: ロマンズ 作品97a-8
ハチャトゥリアン: 剣の舞
ラフマニノフ: ヴォカリーズ 作品34-14
パツィーニ: 妖精の踊り 作品25 ほか

11歳で巨匠・小澤征爾を驚愕させ、2007年チャイコフスキー国際コンクールでの優勝以来、輝かしいキャリアを著々と築いているヴァイオリニスト、神尾真由子。強烈ともいえる個性的解釈、時に「牙をむくような」と評される感情表現、弾く度に聴衆を圧倒するその演奏は「奇才」そのものです。そんな彼女が長野市民向けに組んだプログラムは本格ファンをもうならせるブラームスのソナタと、初心者にも親しめる小曲集の組合せ。さあどんな表情を見せてくれるのか。満を持しての、長野市初公演です。



■ NCACチケットオンライン会員先行発売: 7/7⑤10:00 ■ 一般発売: 7/9⑤10:00

NCAC音楽大学「リトミック」講座(全5回)

講師:坂本真理子

(全日本リトミック音楽教育研究会常任理事 本部指導講師)

10/3⑤・11/7⑤・12/5⑤

2017 2/6⑤・3/6⑤ リハーサル室

各日11:00「親子のリトミック」全席自由 親子ペア¥200

※0〜3歳を対象。

各日13:00「大人のリトミック」全席自由 ¥500



【親子のリトミック】手先が未発達で楽器がうまく弾けない子どもたちでも、自分が感じるままに音楽を表現することができるリトミック。幼児のリトミックは、種をまく前に、種が育ちやすくなるよう音楽の土壌を整えることが目的です。子どもたちの発達に即した音楽反応を用い、親子で楽しみながら深い感受性や豊かな表現力を身に付けます。

【大人のリトミック】大人、特に子どもがピアノやヴァイオリンを習っているというお母さんを対象にした講座です。リトミックは身体表現から始まり、即興演奏や作曲まで学ぶ教育法。子どもたちの演奏に合わせてちょっとした共演ができるようになれば、親子で音楽を楽しみ、学べる家庭の出来上がりです!

TSUKEMEN Live 2016 @長野市芸術館

ヴァイオリン:TAIRIKU/ヴァイオリン:KENTA

ピアノ:SUGURU

11/19⑤17:00

メインホール

¥4,500 A¥4,000

曲目未定



ヴァイオリン2本とピアノからなる、アコースティック・インストゥルメンタル・ユニットTSUKEMEN。リーダーの佐田大陸は諏訪市出身。長野にゆかりのあるアーティストとして、長野市内でも年々ファン層を拡大している彼らが、長野市芸術館開館のためのオリジナル・プログラムを引っ提げ、オープニング・シリーズに駆けつけます!

井上道義 指揮

オーケストラ・アンサンブル金沢

ピアノ:イェルク・デームス

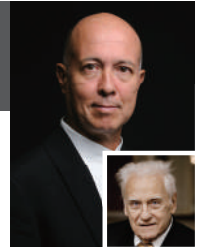
11/6⑤15:00 メインホール

¥7,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥3,000

モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲 K. 492

ピアノ協奏曲第27番 変ロ長調 K.595

シューベルト: 交響曲第9番 ハ長調 D.944「グレート」



故・岩城宏之氏が1988年に日本初のプロフェッショナルの室内管弦楽団として創設し、まもなく30周年を迎えるOEK。チェンバー・オーケストラの利点を生かした豊富なレパートリーで国内外で圧倒的な公演数を誇り、今や日本を代表するオーケストラのひとつとなっています。2007年よりOEKの音楽監督となり、以来、深い信頼関係で結ばれているマエストロ井上道義とともに、長野市芸術館のオープニングに華を添えてくれることでしょう。ピアノは、スコダ、グランドと並び「ウィーンの三羽鳥」のひとつと称され、ドイツ・ロマン派最後を飾るピアノの巨匠、イェルク・デームス。

NCAC音楽大学「音楽華道」講座(全3回)

講師:前野博紀(華道家)

11/20⑤・12/11⑤

2017 1/8⑤各日14:00 リハーサル室

受講料 ¥15,000(3回分/花材・花器の費用を含む)

ペア受講料 ¥15,000(3回分/花材・花器の費用を含む)

※生けるお花は2人で1つとなります

※親子、夫婦、カップルなど組合せは自由



クラシック音楽をもっと深く聴き込むコツとして、音楽を聴きながら「花」を創造するという方法を紹介します。花材を絵具とし、キャンバスに絵を描くように花を活けることを指導するのは華道家の前野博紀。草月流の中でも極めて挑戦的な作品を発表することで知られています。全くの初心者でも学べるよう、段階を踏んで指導を行い、3回目の講座ではニューイヤー・コンサートに展示する生け花を創作します。

■ NCACチケットオンライン会員先行発売: 7/28⑤10:00

■ 一般発売: 7/30⑤10:00

小池博史ブリッジプロジェクト

『風の又三郎2016—Odyssey of Wind—』

作・演出・振付:小池博史

音楽・演奏:中村明一(尺八)/菅谷昌弘/下町兄弟(パーカッション)

美術:鈴木康広 衣装:浜井弘治

出演:清水寛二/松島誠/小谷野哲郎/谷口界/松縄遥 ほか

10/22⑤17:00・23⑤14:00

アクトスペース

全席自由 一般¥3,500 高校生以下¥1,500

能楽、ダンス、演劇、アクトバット、生演奏で織りなす「風の吹く」総合舞台芸術作品。言い伝えの中に出てくる風の神「風の又三郎」と子どもたちが、自然と異界をとらえていく姿を見つめる物語です。



■ NCACチケットオンライン会員先行発売: 8/25⑤10:00

■ 一般発売: 8/27⑤10:00

VOCES8 クリスマス・コンサート

VOCES8(声楽アンサンブル)

12/24⑤ 開演時刻未定

メインホール

¥4,000 A¥3,000

B¥2,000

曲目未定



英国の最先端アカペラ・コーラスグループ。ポリフォニー音楽から古典教会音楽、クラシックからジャズやポップスまで驚くべき幅広いレパートリーを透き通った完璧なハーモニーで歌いこなし、さらに愉しいステージ・パフォーマンスまで繰り出す、男女たった8人とは思えない極上のエンタテインメント。大切な人と、優美なクリスマス・ソングに包まれる素敵なイブのひとときを。

■ NCACチケットオンライン会員先行発売：9/1 10:00 ■ 一般発売：9/3 10:00

人形劇俳優たいらじょう『よだかの☆星／セロ弾きのゴーシュ』

12/17 18 開演時刻未定 アクトスペース

全席自由 一般¥3,000 高校生以下¥1,500

一人芝居と人形劇を融合させた唯一無二の表現方法と世界観で、観るものの心にく目には見えない風景を映し出す！今回の公演では、たいらじょう＜人形劇＞の出发点でもある＜宮沢賢治＞作品を2本立てにて上演。

公演に先駆けて、地域の小学生を対象とした人形劇ワークショップを2日間に渡り開催します。



「よだかの☆星」：なにもない舞台の中、たいらの手が鳥を演じ、果てしない天空をどこまでも飛び回る姿が表現される。たいらじょうの真骨頂といえる名作。観客は、まるで自分が夜空の中に居るかと思うほどに景色を感じられる舞台。

「セロ弾きのゴーシュ」：セロを弾くのが苦手な主人公ゴーシュ役をたいらじょう自らが演じ、愛らしく愉快な人形連の演技と見事に融合。動物達との交流を通して変化してゆくゴーシュの心情が丁寧に描かれる。

【関連企画】
子どものための
人形劇ワークショップ(2日間)

こども達が自分の力で考え創り出すことをサポートしながら、最終的にはみんなでひとつのものを創り上げます。人形を通すことによって、自分の想像を超えた表現力にこども達は出会えます。
※対象年齢小学1年生～6年生(予定)
※参加人数:20名程度(予定)

■ NCACチケットオンライン会員先行発売：9/8 10:00 ■ 一般発売：9/10 10:00

すべてのピアノ愛好家に贈る～ 小川典子スペシャル・ マスタークラス&ミニ・コンサート

講師:小川典子(ピアノ)

受講生:長野市内・近隣のピアノ愛好家・演奏家

12/10 14:00

リサイタルホール

受講料 ¥5,000

聴講・鑑賞 全席自由 ¥500

曲目未定



小学校高学年から大人、お年寄り、プロを目指す学生など「もっとピアノをうまく弾きたい」という向上心のある方なら誰もが受講できるこのマスタークラス。通常はプロ演奏家を目指す人材の指導しか行わない小川典子が、今回特別にアマチュア指導もお引受け下さいました。全員の指導後には、講師によるミニコンサートも行います。世界的ピアニストの指導を受け、演奏がどんどん変化していくのを目の当たりにするのはとても面白く興味深いものです。ピアノが弾ける方、弾けない方も、必聴のマスタークラスです。

ウィーン・リング・アンサンブル ニューイヤー・コンサート

2017 1/9 開演時刻未定
メインホール

詳細未定



世界最高峰と言われるオーケストラのひとつ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーが、元旦恒例のウィーンでのニューイヤー・コンサートを終えたその足で来日。「ウィーン・フィル・ミニチュア版」がウィーンでの公演ながら、軽やかなワルツやポルカで長野の新年を華やかに彩ります。ステージには華道家でNCAC音楽大学「音楽華道」講座の講師、前野博紀が装花を行い、ホワイエには指導を受けた受講生の生け花が並びます。

ナガノ・チェンバー・オーケストラ 第3回定期演奏会

指揮:久石譲

コンサートマスター:近藤薫

(東京フィルハーモニー交響楽団 コンサートマスター)

2017 2/12 15:00
メインホール

S ¥5,000 A ¥4,000

B ¥3,000 学生 ¥2,000

ヴィヴァルディ/マックス・リヒター:

《四季》より 冬(リコンポーゼド)

ベートーヴェン: 交響曲第4番 変ロ長調 作品60

交響曲第3番 変ホ長調 作品55「英雄」

芸術監督・久石譲が敬愛するベートーヴェンの交響曲全曲演奏の第3回定期演奏会は、ご存知、第3番「英雄」と第4番がメイン・プログラム。近年脚光を浴びつつある作曲家マックス・リヒターの編曲で超有名曲ヴィヴァルディの《四季》より「冬」もお楽しみいただけます。これはもう、ロック!です。



News

News

長野市芸術館・アクトスペースと
門前町 長野の小劇場文化のための
イヤープック



演劇好きの方は必読ですよ!新しい小劇場空間・長野市芸術館アクトスペースの主催事業プログラムや市内での演劇振興へ向けた取り組みなどを紹介する『THE ACT』(ジ・アクト)を発行しました。創刊号となる今回は、生誕120周年を迎える宮沢賢治が著した、日本人初のアートマネジメント論「農民芸術概論」におけるパブリックアート観と、戦前から現代にいたる長野市の劇場史・演劇史を縦糸と横糸として紡ぎながら善光寺門前の小劇場文化再興と創出に向けた内容になっています。また、長野市で活動する劇団が思い入れのある公演の場をマップ付きでご紹介。長野市ってこんなに演劇が盛なんだと驚くこと間違いなし! 市内にて無料で配布開始。

すべてのピアノ愛好家に贈る
～小川典子スペシャル・マスタークラス
受講生募集!



イギリスと日本を拠点に世界中で活躍するピアニスト、小川典子がマスタークラスを行います。小川典子が一般の愛好家のレッスンを行う機会はほとんどなく、今回は長野市民のために特別にお引受けいただきました。「もっとうまく弾きたい」と頑張る長野のピアノ愛好家には大きなチャンスです! 応募条件は、小学校5年生以上でピアノに真剣に取り組んでいる方。社会人の方、ご年配の方もご応募可能です。詳しくはチラシ、ホームページでご確認いただくか、長野市文化芸術振興財団にお問い合わせください。

NCACチケットセンターに
いらっしゃいませんか?



4月からオープンしたNCACチケットセンター。おかげさまで毎日多くのお客様にお越しいただいています。こちらでは、長野市芸術館主催公演をはじめとする、長野市芸術館での公演チケットが購入できるだけでなく、近隣ホールの公演チラシをお持ち帰りいただけます。長野市内では入手困難なフリーペーパーなどもあり、長野市近郊だけでなく、全国の情報が入手できます。テーブルやソファもあるのでチケットが発券されるまでの数分間、くつろぎながら音楽雑誌などをご覧ください。

チケットご購入の方法は3つ

便利です!

1



インターネット

2



電話

3



窓口

チケットセンター窓口



N チケ会員限定

NCAC チケットオンライン

<http://www.nagano-arts.or.jp>

AM3:00~4:00 はメンテナンスのため休止

お支払い方法	チケットお取り方法 / 手数料・送料	備考
① チケットセンター窓口 [現金 / クレジットカード]	チケットセンター窓口 / 手数料: 無料	窓口でのお支払い期限は7日以内です。
② 銀行振込	チケットセンター窓口 / 手数料: 無料 郵送 (簡易書留) / 送料: 402 円	お支払い・お振り込み期限は7日以内です。 振込み手数料はお客様負担となります。
③ オンライン決済 [クレジットカード]	チケットセンター窓口 / 手数料: 無料 [注2] 郵送 (簡易書留) / 送料: 402 円 コンビニ発券 / 手数料: 173 円	
④ コンビニ [セブンイレブン / サークルKサンクス]	コンビニ発券 / 手数料: 270 円	コンビニでのお支払い期限は7日以内です。



窓口

NCAC チケットセンター

TEL / 026-219-3191

場所 / 長野市芸術館 1F (長野市大字鶴賀緑町 1613)

営業時間 10:00~19:00 / 火曜定休

お支払い方法	チケットお取り方法 / 手数料・送料	備考
① チケットセンター窓口 [現金 / クレジットカード]	チケットセンター窓口 / 手数料: 無料	窓口でのお支払い期限は7日以内です。
② 銀行振込	チケットセンター窓口 / 手数料: 無料 郵送 (簡易書留) / 送料: 402 円	お支払い・お振り込み期限は7日以内です。 振込み手数料はお客様負担となります。
③ コンビニ [サークルKサンクスのみ]	コンビニ発券 / 手数料: 270 円	コンビニでのお支払い期限は7日以内です。

<チケットご購入に際して>

- 不可抗力による公演中止の場合を除き、チケットの払い戻し・交換はいたしません。
- 支払期限内にお支払いがない場合、ご予約がキャンセルとなりますのでご注意ください。
- 車椅子席をご希望の方はNCAC チケットセンターへお電話でお問合せください。
- 正規プレイガイド以外でチケットを入手された場合、無効となり入場できないことがあります。

「N チケ会員」募集中!

Partners

ゴールドパートナー

AOKI Holdings
株式会社AOKIホールディングス

株式会社岩野商会

北野建設

栗田病院

システックス

信濃毎日新聞

SBC信越放送

炭平コーポレーション
S U M I H E I

Densan

中嶋製作所

長野県信用組合 けんしん

長野信用金庫

長野都市ガス

八十二銀行

fujikoshi Machinery Corp.

HOKUTO

松代金属株式会社

みずすコーポレーション

シルバーパートナー

クリーニングザれもん

スタインウェイセンター高崎

ホテル国際21

ブロンズパートナー

(株) アサヒエージェンシー
アベレコード
(株) 共立プランニング
鮎レストラン大政
東信運送 (株)
(株) 長野三光
(株) ながの東急百貨店
ベイクックコーポレーション (株)
マルコメ (株)

(株) アスク
うなぎの浜名屋
共和観光 (株) チサングランド長野
清泉女学院グループ大学・短大・高校・中学
(株) ながのアド・ビューロ
長野商工会議所
(株) 長野舞台
(株) ホテルメトロポリタン長野
(株) 守谷商会

(株) アド・ユニティー
オフィス繭
ししとう
(株) 篤友
(一社) 長野県経営者協会長野支部
長野税理士法人
(株) ビー・クス
(株) マルイチ産商

サプライヤーパートナー

(株) AOKIホールディングス
(株) ヒシヤ
(株) 八幡屋礦五郎

※各パートナー毎・五十音順

NCAC
Magazine

Opus2 / June 2016

発行 | 一般財団法人長野市文化芸術振興財団
Nagano City Arts Foundation
〒380-8512 長野県長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
TEL | 026-219-3100 Fax: 026-219-3110
E-mail | info@nagano-arts.or.jp
URL | <http://www.nagano-arts.or.jp/>

発行日 | 平成 28 年 6 月 1 日
企画・編集 | NCAC 広報室
デザイン | 株式会社ビー・クス
装丁画 | 越ちひろ
印刷 | 中外印刷株式会社

© 無断転載禁止

公演内容は2016年5月現在のものです。最新情報については長野市芸術館公式ウェブサイト等をご覧ください。



長野市芸術館
NAGANO CITY ARTS CENTER